

≪QE予測シリーズ No.2014-1≫

2014年1～3月期GDP統計予測

(1) 2014年1～3月期の実質GDP成長率は、前期比年率+4.6%（前期比+1.1%）と6四半期連続のプラス成長となった見込み（図表1）。外需が引き続き景気の下押しとなったものの、内需では、個人消費が消費税率引き上げを直前に控えた駆け込み需要の本格化により大幅に増加したほか、設備投資も増勢が加速し、GDPを大きく押し上げ。その結果、成長率は前期（前期比年率+0.7%、前期比+0.2%）から加速。

①個人消費（前期比年率+5.9%、前期比+1.5%）

消費税率の引き上げを直前に控えて、自動車や家電製品など耐久消費財を中心に駆け込み需要が本格化。加えて、その他の分野においても所得環境の緩やかな改善などを背景に、底堅く推移し、GDPを大きく押し上げ。

②設備投資（前期比年率+7.4%、前期比+1.8%）

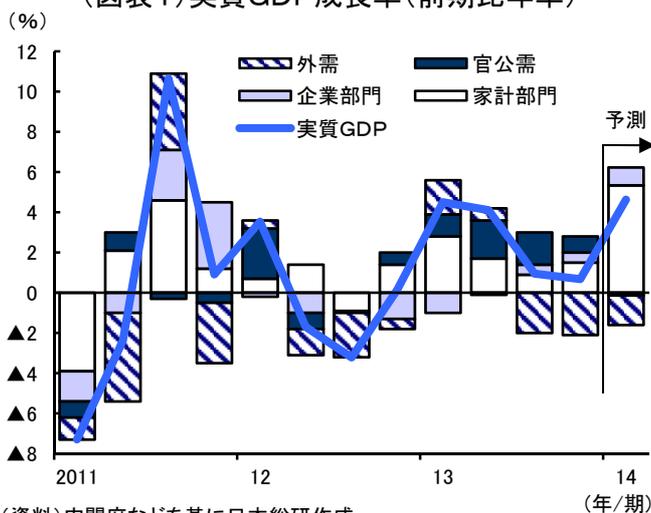
景気の回復基調持続と収益環境の改善を背景に、企業の設備投資スタンスは緩やかながらも改善し、増勢が明確化。

③外需（前期比年率寄与度▲1.1%ポイント、前期比寄与度▲0.3%ポイント）

輸出は米国や欧州向けで増加。もっとも、主要輸出先である中国を含むアジア向けは弱含み。アベノミクス始動以降、円安地合いが続くものの、数量増加による押し上げは限定的。一方、輸入は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などを背景に高い伸びが持続。その結果、外需のGDP寄与度は3四半期連続のマイナス。

(2) 4～6月期を展望すると、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が、個人消費や住宅投資を中心に顕在化。これまで景気のけん引役であった内需が、押し下げ要因に転じる結果、マイナス成長は避けられず。もっとも、低迷が続く外需については、駆け込み需要や政策効果のはく落を受けて、①輸入が減少に転じること、②企業が優先して対応していた国内向け出荷に代わり、輸出への振り向けに余裕が生じること、に加えて、③米国経済など海外景気が底堅く推移すること、などから徐々に回復に向かう見通し（図表2）。

(図表1) 実質GDP成長率(前期比年率)



(資料)内閣府などを基に日本総研作成

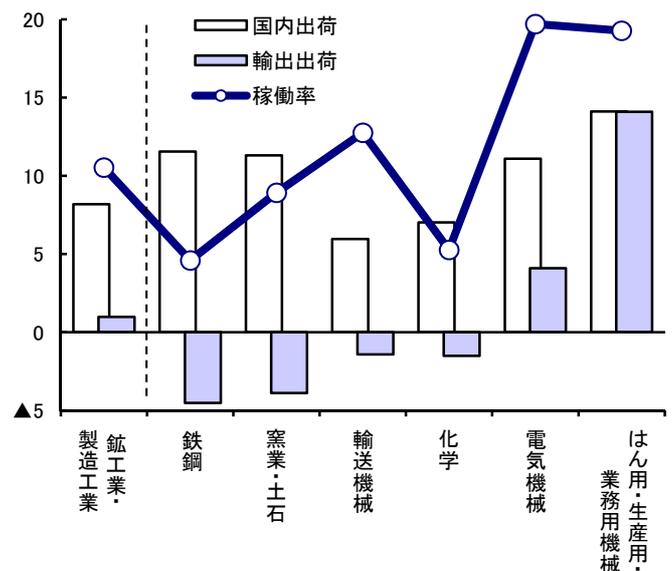
(注1)家計部門＝民間最終消費支出＋民間住宅

(注2)企業部門＝民間企業設備＋民間在庫品増加

(注3)官公需＝政府最終消費支出＋公的固定資本形成＋公的在庫品増加

(注4)外需＝輸出－輸入

(図表2) アベノミクス始動後の稼働率と出荷の変化 (2014年2月時点、2013年1月対比)



(資料)経済産業省

(注)2013年1月＝100とした際の直近3ヵ月平均との水準変化。

【ご照会先】 調査部 副主任研究員 下田裕介 (shimoda.yusuke@jri.co.jp, 03-6833-0914)

≪QE予測シリーズ≫は、直近四半期の日本経済、および法人企業統計の概況を解説するとともに、四半期別GDP速報の予測値と当面の景気見通しを示すものです。1次速報値と2次速報値について、年合計8回発表します。

GDP統計予測表(2014年4月30日時点の公表系列をもとに作成)

(株)日本総合研究所 調査部

■ 前期比

(%、十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需								外需							
	民間				官公需				輸出	輸入	政府消費	公共投資	公的在庫			
個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫									
2012/ 10 ~ 12	0.0	0.2	0.0	0.4	2.3	▲ 0.9	▲ 972.2	0.6	0.8	0.4	▲ 73.9	▲ 1013.7	▲ 2.9	▲ 1.9	0.1	0.1
2013/ 1 ~ 3	1.1	0.7	0.6	1.0	1.7	▲ 0.9	▲ 602.1	1.0	0.6	3.2	▲ 14.0	2485.3	4.2	1.1	0.7	▲ 0.4
4 ~ 6	1.0	0.8	0.5	0.6	0.9	1.0	▲ 789.3	1.9	0.9	6.8	11.6	1116.4	2.9	1.8	1.0	0.0
7 ~ 9	0.2	0.7	0.4	0.2	3.3	0.1	529.3	1.5	0.2	7.2	10.8	▲ 2384.3	▲ 0.7	2.4	0.1	▲ 0.1
10 ~ 12	0.2	0.7	0.6	0.4	4.1	0.8	74.8	0.8	0.5	2.1	36.7	▲ 2305.3	0.4	3.5	0.3	0.1
2014/ 1 ~ 3	1.1	1.1	1.5	1.5	2.8	1.8	▲ 406.5	▲ 0.1	0.3	▲ 1.8	3.2	▲ 427.6	2.9	3.6	1.1	0.0

■ 前期比年率

(%、十億円)

2012/ 10 ~ 12	0.1	0.7	0.1	1.8	9.6	▲ 3.5	—	2.6	3.0	1.7	—	—	▲ 11.3	▲ 7.2	0.4	0.3
2013/ 1 ~ 3	4.5	2.7	2.3	4.2	7.2	▲ 3.7	—	4.2	2.6	13.3	—	—	17.8	4.5	2.8	▲ 1.6
4 ~ 6	4.1	3.4	2.1	2.6	3.5	4.2	—	7.7	3.5	30.2	—	—	12.2	7.2	4.2	0.1
7 ~ 9	0.9	2.8	1.8	0.8	13.9	0.4	—	6.1	1.0	31.9	—	—	▲ 2.7	10.1	0.5	▲ 0.4
10 ~ 12	0.7	2.7	2.5	1.6	17.6	3.0	—	3.2	1.9	8.7	—	—	1.7	14.7	1.2	0.5
2014/ 1 ~ 3	4.6	4.4	6.0	5.9	11.7	7.4	—	▲ 0.4	1.3	▲ 7.2	—	—	11.9	15.2	4.6	0.0

■ 前年同期比

(%、十億円)

2012/ 10 ~ 12	▲ 0.3	0.5	▲ 0.0	0.7	5.8	▲ 4.2	▲ 40.0	2.4	1.9	4.8	▲ 10.2	▲ 1226.6	▲ 5.0	1.0	▲ 1.0	▲ 0.7
2013/ 1 ~ 3	0.0	0.5	0.4	1.5	9.3	▲ 3.4	▲ 355.8	0.9	1.4	▲ 0.7	▲ 34.4	▲ 746.9	▲ 3.3	0.3	▲ 1.0	▲ 1.0
4 ~ 6	1.2	1.4	0.7	1.7	6.9	▲ 2.6	▲ 406.8	3.5	2.7	8.1	2.2	▲ 145.3	0.0	0.8	0.7	▲ 0.5
7 ~ 9	2.3	2.3	1.5	2.2	8.6	▲ 0.8	▲ 435.9	5.0	2.5	19.0	▲ 15.8	61.7	3.2	3.2	1.9	▲ 0.4
10 ~ 12	2.6	3.0	2.1	2.3	10.4	▲ 1.0	▲ 225.2	5.7	2.2	20.7	13.0	▲ 285.4	6.8	9.0	2.2	▲ 0.3
2014/ 1 ~ 3	2.8	3.5	3.3	2.8	11.6	3.7	▲ 92.9	4.4	1.9	14.6	12.5	▲ 997.5	5.6	11.8	3.0	0.2

■ 前期比・寄与度

(%、%ポイント)

2012/ 10 ~ 12	0.0	0.2	0.0	0.3	0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	0.2	0.0	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3	—	—
2013/ 1 ~ 3	1.1	0.7	0.4	0.6	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.3	0.1	0.1	▲ 0.0	0.4	0.6	▲ 0.2	—	—
4 ~ 6	1.0	0.9	0.4	0.4	0.0	0.1	▲ 0.2	0.5	0.2	0.3	0.0	0.1	0.5	▲ 0.3	—	—
7 ~ 9	0.2	0.7	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.4	0.1	0.3	0.0	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.4	—	—
10 ~ 12	0.2	0.7	0.5	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	▲ 0.6	0.1	▲ 0.7	—	—
2014/ 1 ~ 3	1.1	1.1	1.1	0.9	0.1	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.3	0.5	▲ 0.7	—	—

■ 前期比年率・寄与度

(%、%ポイント)

2012/ 10 ~ 12	0.1	0.7	0.1	1.1	0.3	▲ 0.5	▲ 0.8	0.6	0.6	0.1	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 1.6	1.2	—	—
2013/ 1 ~ 3	4.5	2.8	1.8	2.6	0.2	▲ 0.5	▲ 0.5	1.1	0.5	0.6	▲ 0.0	1.8	2.6	▲ 0.8	—	—
4 ~ 6	4.1	3.5	1.6	1.6	0.1	0.6	▲ 0.6	1.9	0.7	1.4	0.0	0.6	1.9	▲ 1.3	—	—
7 ~ 9	0.9	2.8	1.3	0.5	0.4	0.1	0.4	1.5	0.2	1.5	0.0	▲ 2.3	▲ 0.4	▲ 1.9	—	—
10 ~ 12	0.7	2.8	1.9	1.0	0.6	0.4	0.1	0.8	0.4	0.5	0.0	▲ 2.6	0.3	▲ 2.8	—	—
2014/ 1 ~ 3	4.6	4.6	4.7	3.7	0.4	1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	0.3	▲ 0.4	0.0	▲ 1.1	2.0	▲ 3.1	—	—

■ 前年同期比・寄与度

(%、%ポイント)

2012/ 10 ~ 12	▲ 0.3	0.6	▲ 0.0	0.4	0.1	▲ 0.5	▲ 0.0	0.5	0.4	0.2	▲ 0.0	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.1	—	—
2013/ 1 ~ 3	0.0	0.6	0.4	0.9	0.2	▲ 0.5	▲ 0.3	0.2	0.3	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 0.0	—	—
4 ~ 6	1.2	1.4	0.6	1.0	0.2	▲ 0.3	▲ 0.3	0.8	0.5	0.3	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	—	—
7 ~ 9	2.3	2.5	1.3	1.4	0.2	▲ 0.1	▲ 0.3	1.1	0.5	0.7	▲ 0.0	0.0	0.5	▲ 0.5	—	—
10 ~ 12	2.6	3.1	1.7	1.4	0.3	0.1	▲ 0.2	1.3	0.4	0.9	0.0	▲ 0.2	1.0	▲ 1.2	—	—
2014/ 1 ~ 3	2.8	3.5	2.4	1.6	0.3	0.5	▲ 0.1	1.1	0.4	0.7	0.0	▲ 0.8	0.9	▲ 1.6	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。